

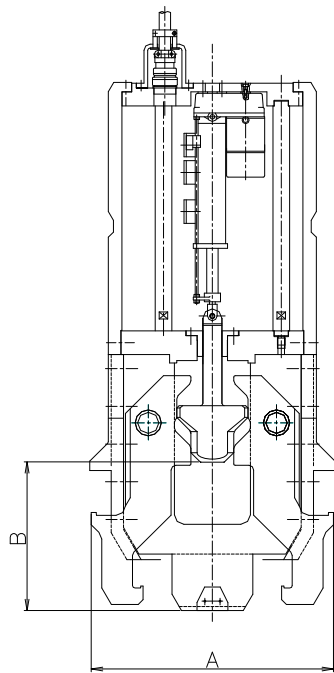


表 9.2.2(3)-2 内づかみ爪・爪開閉ロッド寸法測定結果

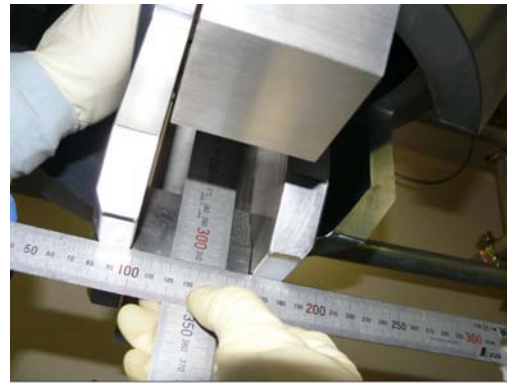
単位〈mm〉

測定箇所	実測値		公称値
	爪フリー時	爪押付時	
A:内づかみ爪開き幅	477.03	440.47	510
B:グリッパ爪支持板下端 端～爪開閉ロッド下端	316		314.5

図 9.2.2(3)-12 内づかみ爪開き幅寸法、グリッパ爪支持板下端から爪開閉ロッド下端の寸法測定



(a) 内づかみ爪開き幅



(b)グリッパ爪支持板下端～爪開閉ロッド下端

図 9.2.2(3)-13 寸法測定の様子(内づかみ爪開き幅、グリッパ爪支持板下端～爪開閉ロッド下端)

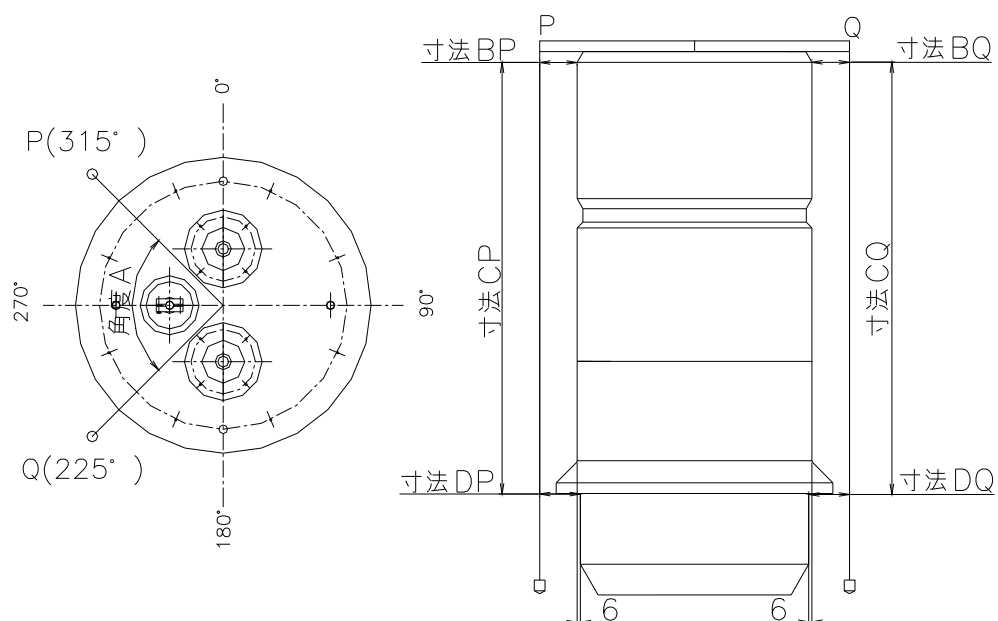


図 9.2.2(3)-14 寸法測定箇所(AHMグリッパ傾き量同定)

表 9.2.2(3)-3 寸法測定結果(AHMグリッパ傾き量同定)

測定箇所	測定値
角度 A	90.0 °
寸法 BP	70.0 mm
寸法 CP	804.0 mm
寸法 DP	77.5 mm
寸法 BQ	70.0 mm
寸法 CQ	805.5 mm
寸法 DQ	77.5 mm



図 9.2.2(3)-15 寸法測定の様子(AHMグリッパ傾き量同定)

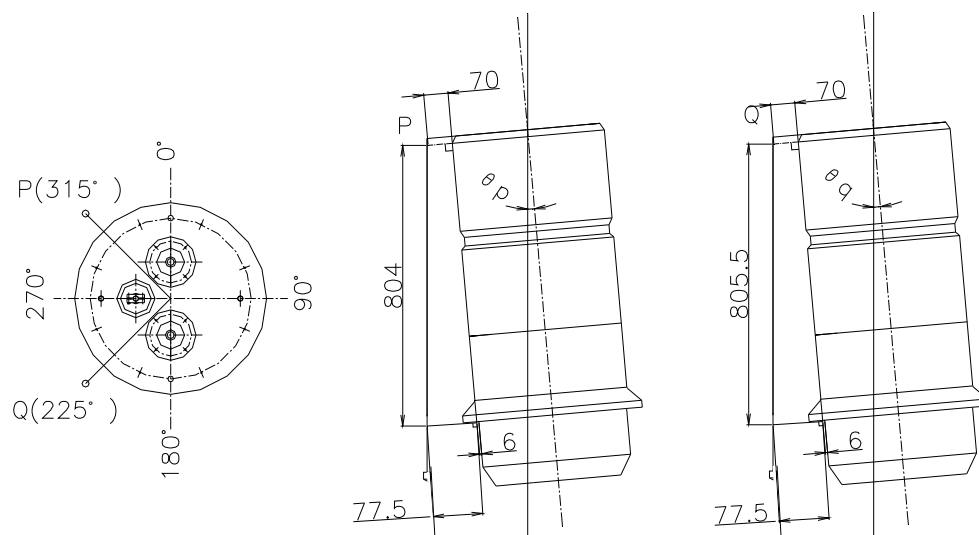


図 9.2.2(3)-16 AHMグリッパ傾き量

$$\begin{aligned}\text{グリッパ傾き量 } \theta_p &= \arctan\left(\frac{77.5 - 70 - 6}{804}\right) \\ &= 0.1^\circ \\ &\approx 0^\circ\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\text{グリッパ傾き量 } \theta_q &= \arctan\left(\frac{77.5 - 70 - 6}{805.5}\right) \\ &= 0.1^\circ \\ &\approx 0^\circ\end{aligned}$$

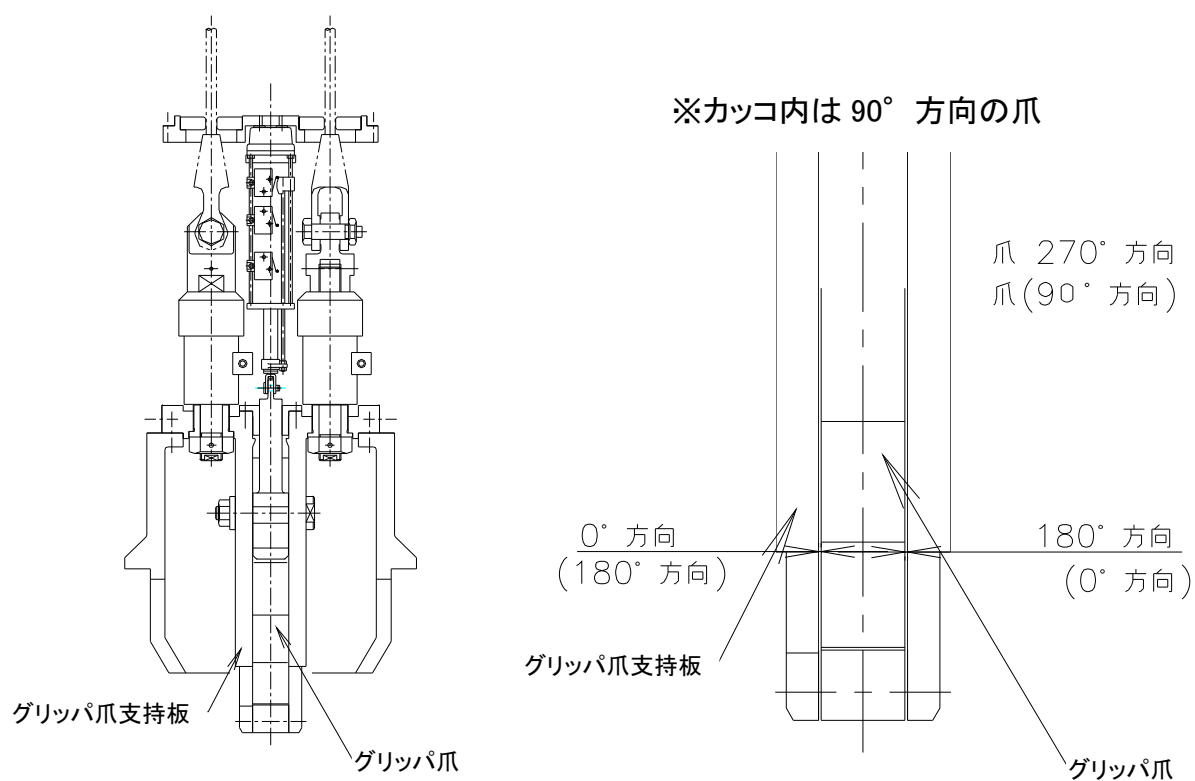
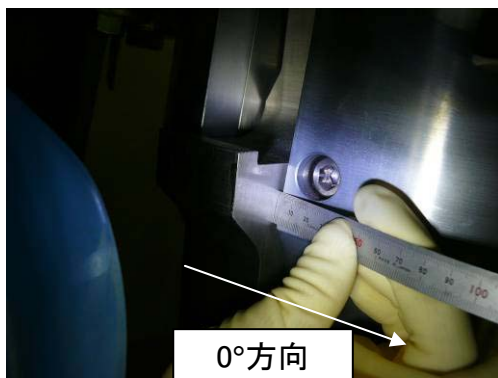


図 9.2.2(3)-17 寸法測定箇所(グリッパ爪支持板先端とグリッパ爪との隙間)

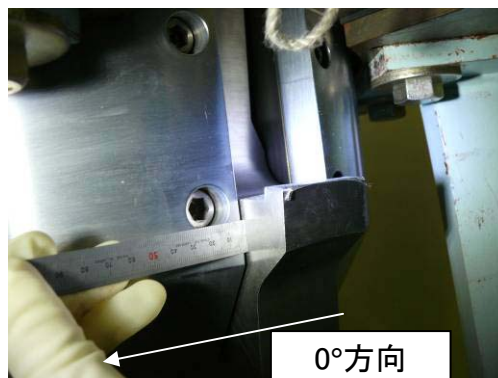
表 9.2.2(3)-4 グリッパ爪支持板先端とグリッパ爪との隙間測定結果

測定箇所	グリッパ爪支持板先端とグリッパ爪との隙間測定寸法	
	0°方向	180°方向
90°方向	2.0 mm	2.5 mm
270°方向	1.5 mm	2.5 mm

公称値: 片側 2 mm



(a) 90° 方向のグリッパ爪



(b) 270° 方向のグリッパ爪

図 9.2.2(3)-18 寸法測定の様子(グリッパ爪支持板先端とグリッパ爪との隙間)

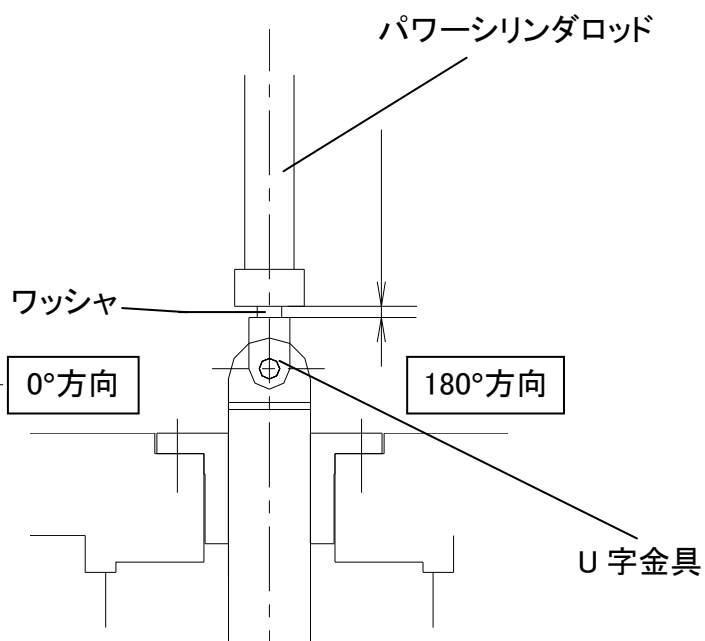
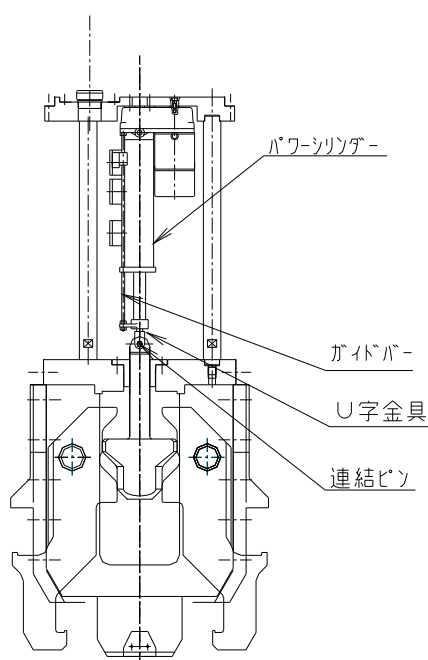
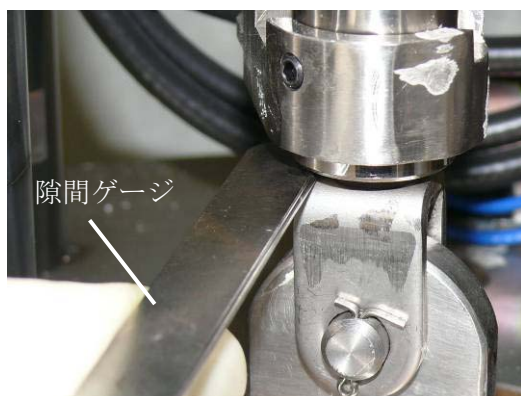
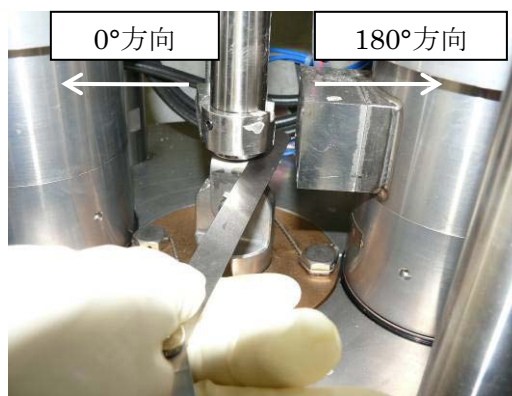


図 9.2.2(3)-19 パワーシリンダ各部 図 9.2.2(3)-20 パワーシリンダロッド下端から
U字金具上端までの寸法測定



隙間ゲージ



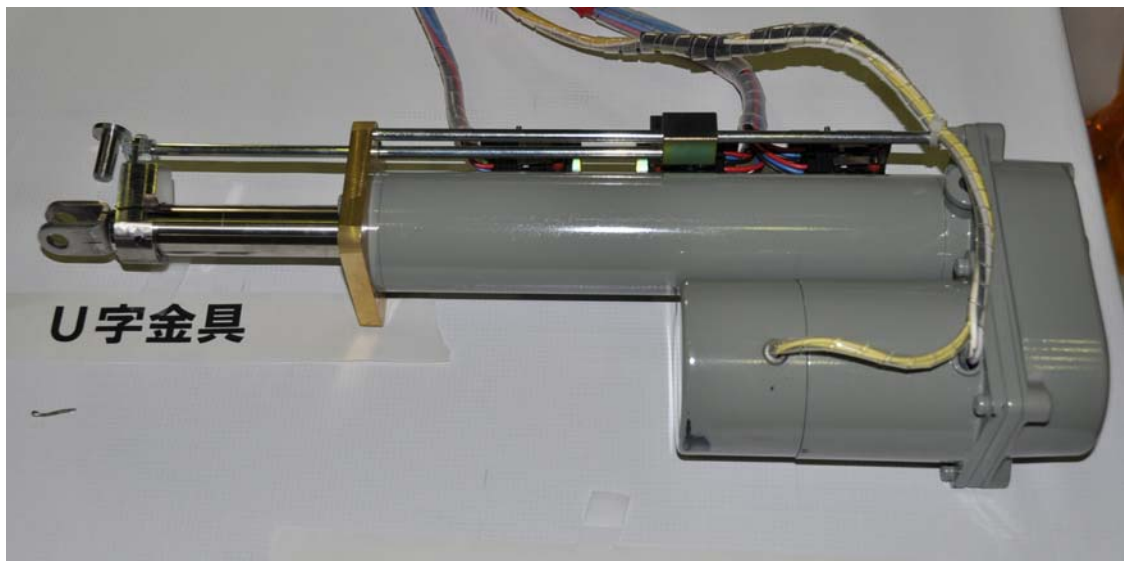
0°方向

180°方向

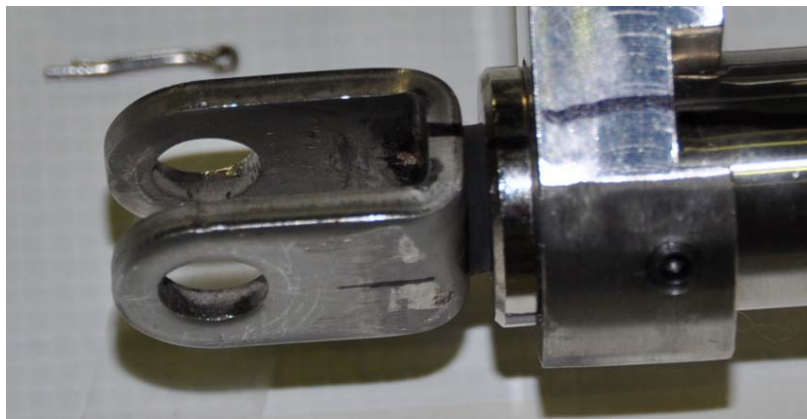
0° 方向測定

180° 方向測定

図 9.2.2(3)-21 寸法測定の様子(パワーシリンダロッド下端からU字金具上端)



U字金具、ワッシャ、パワーシリンダ組み立て状態



U字金具、ワッシャ、パワーシリンダロッド組み立て状態



U字金具へのワッシャ取
付け状態



爪開閉ロッド(側面)

図 9.2.2(3)-22 パワーシリンダ、U字金具、爪開閉ロッド

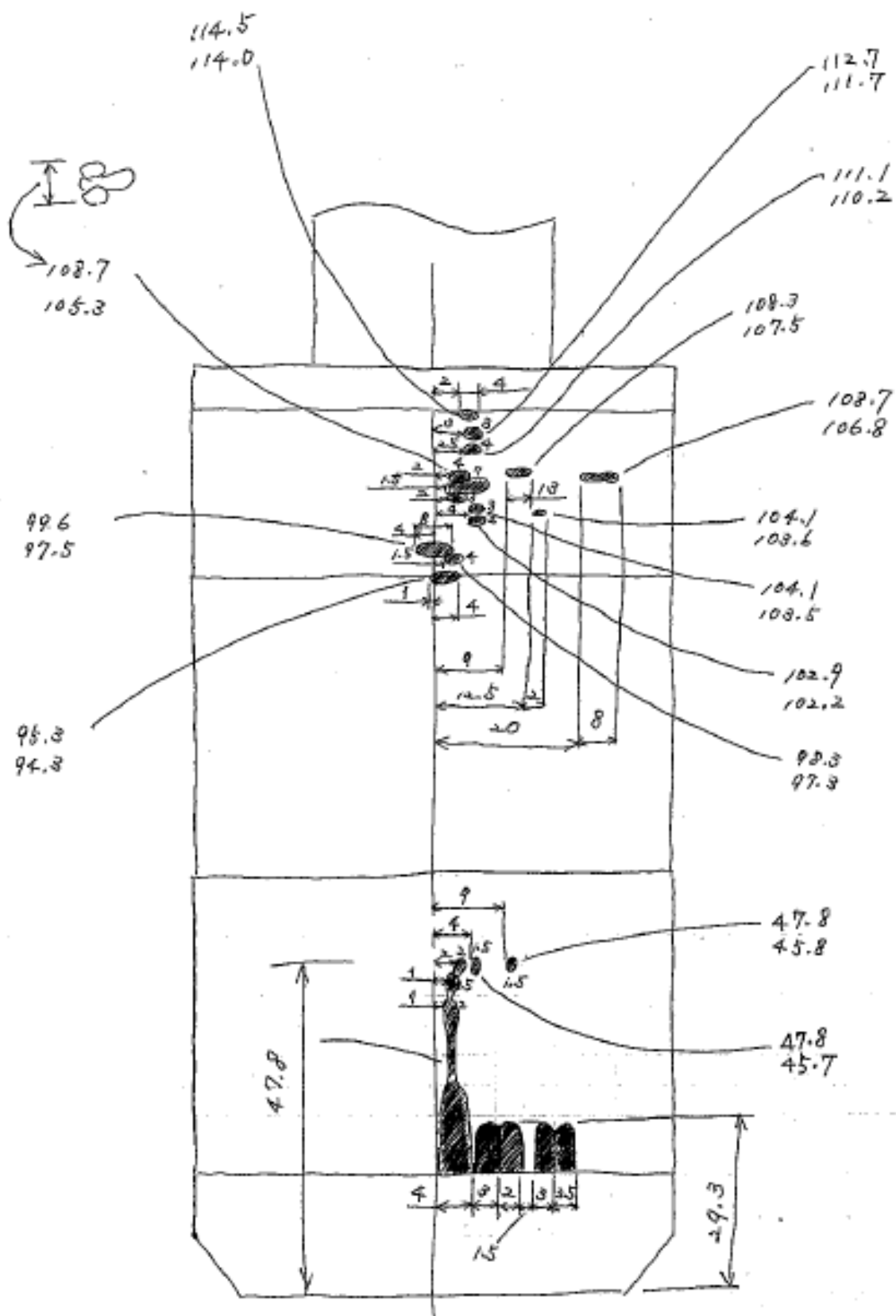


図 9.2.3(1)-1 爪開閉ロッド接触痕位置(90° 方位のスケッチ図)(1/2)

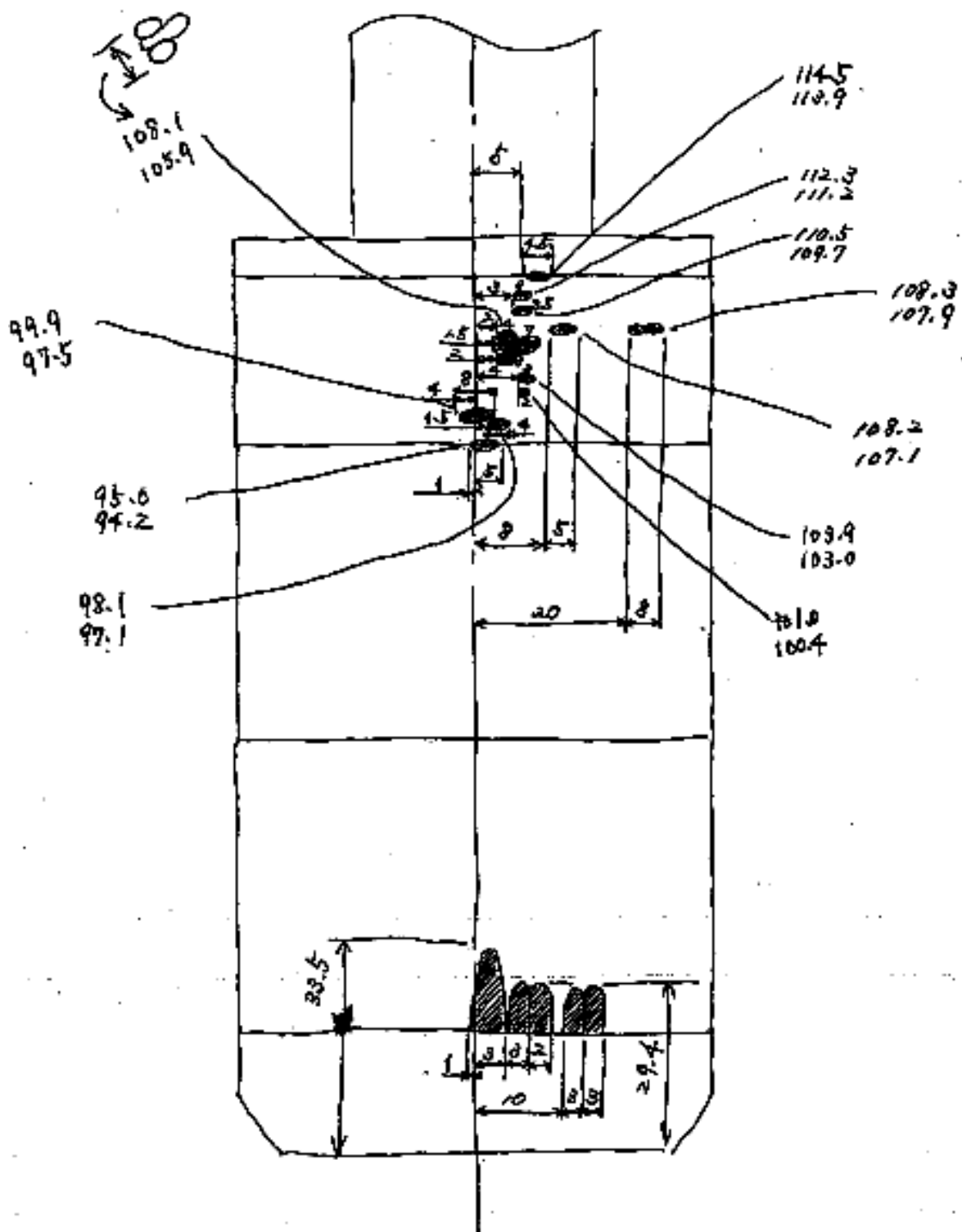


図 9.2.3(1)-1 爪開閉ロッド接触痕位置(270° 方位のスケッチ図)(2/2)

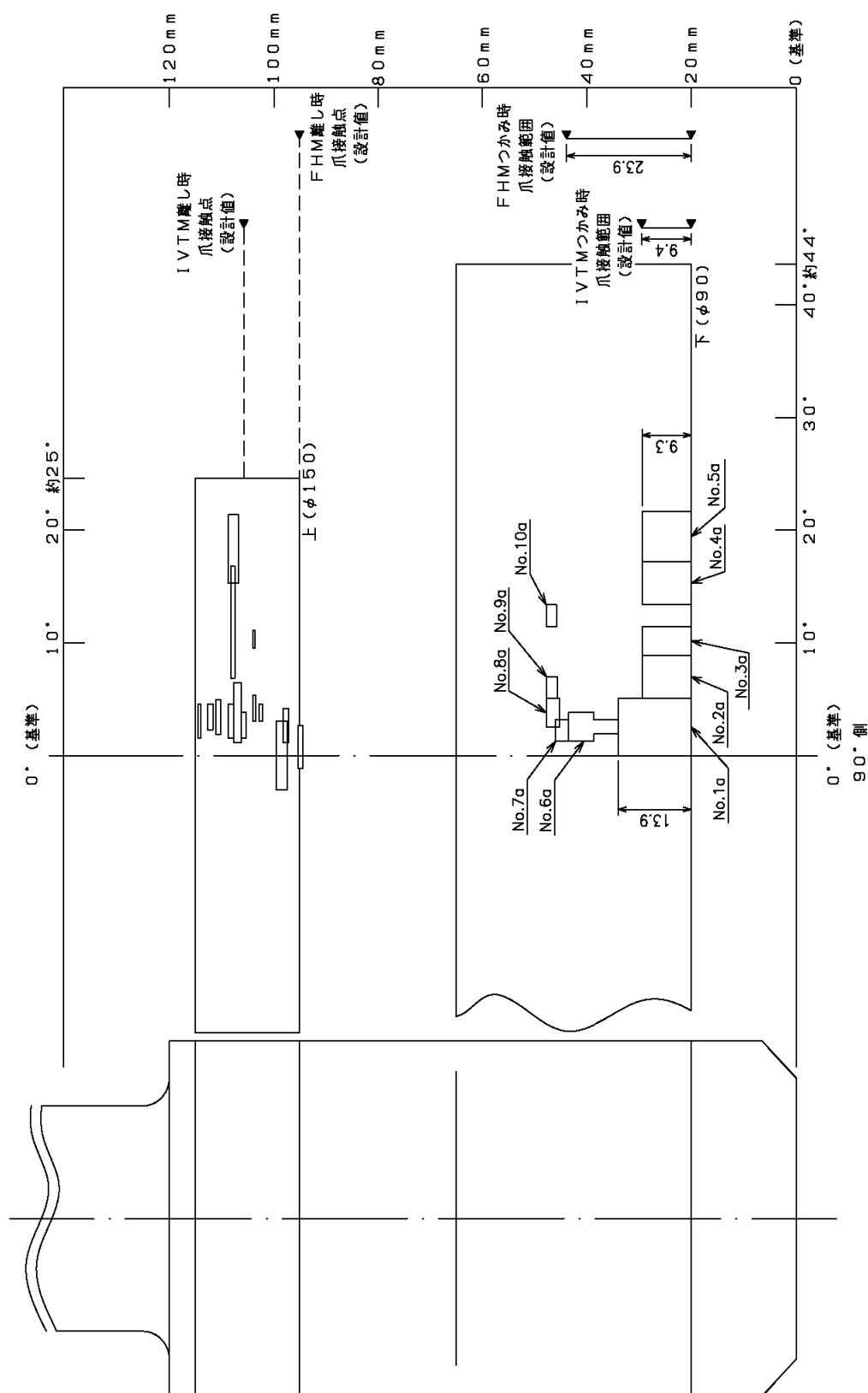


図 9.2.3(1)-2 爪開閉ロッド接触痕位置(角度で表示)(1/2)

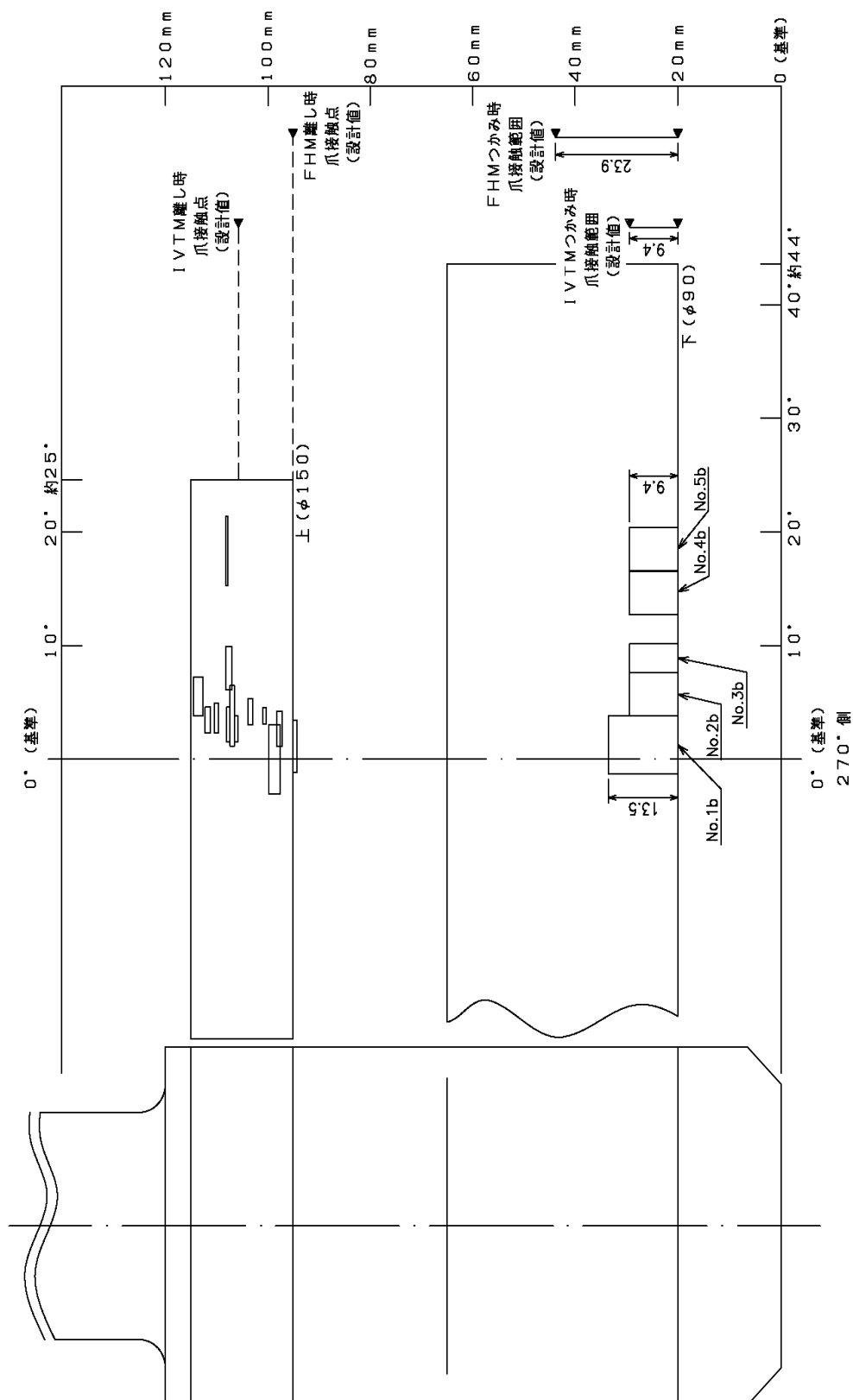
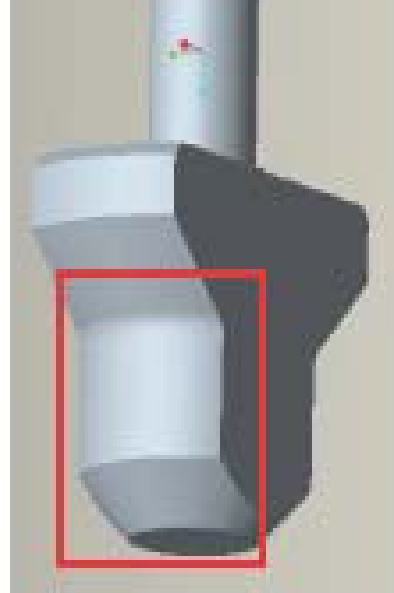


図 9.2.3(1)-2 爪開閉ロッド接触痕位置 (角度で表示) (2/2)



270° 側

図 9.2.3(1)-3 爪開閉ロッド接触痕写真

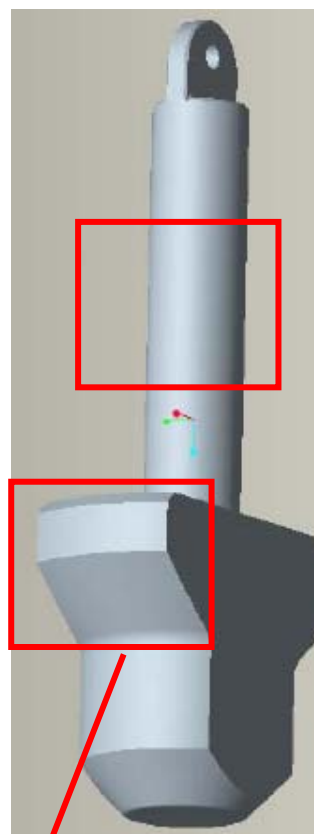
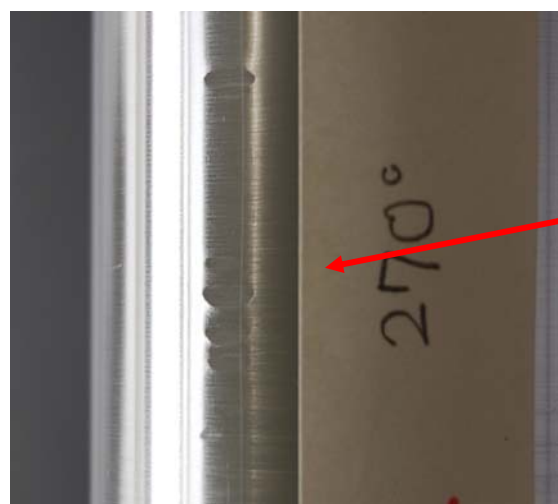
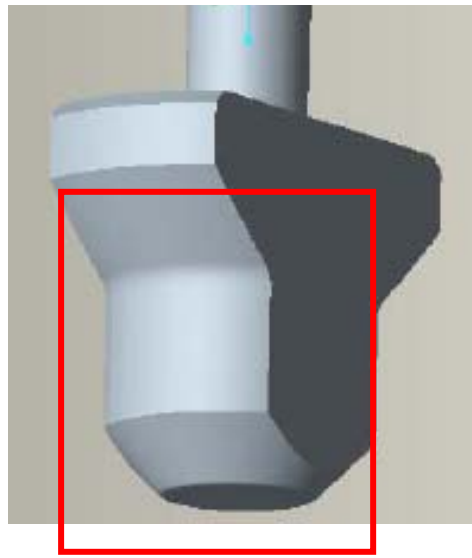
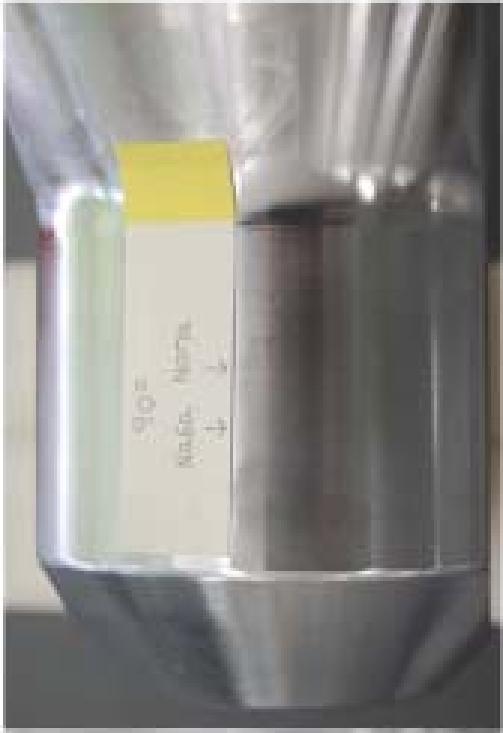


図 9.2.3(1)-4 爪開閉ロッド接触痕写真



90° 側

図 9.2.3(1)-5 爪開閉ロッド接触痕写真

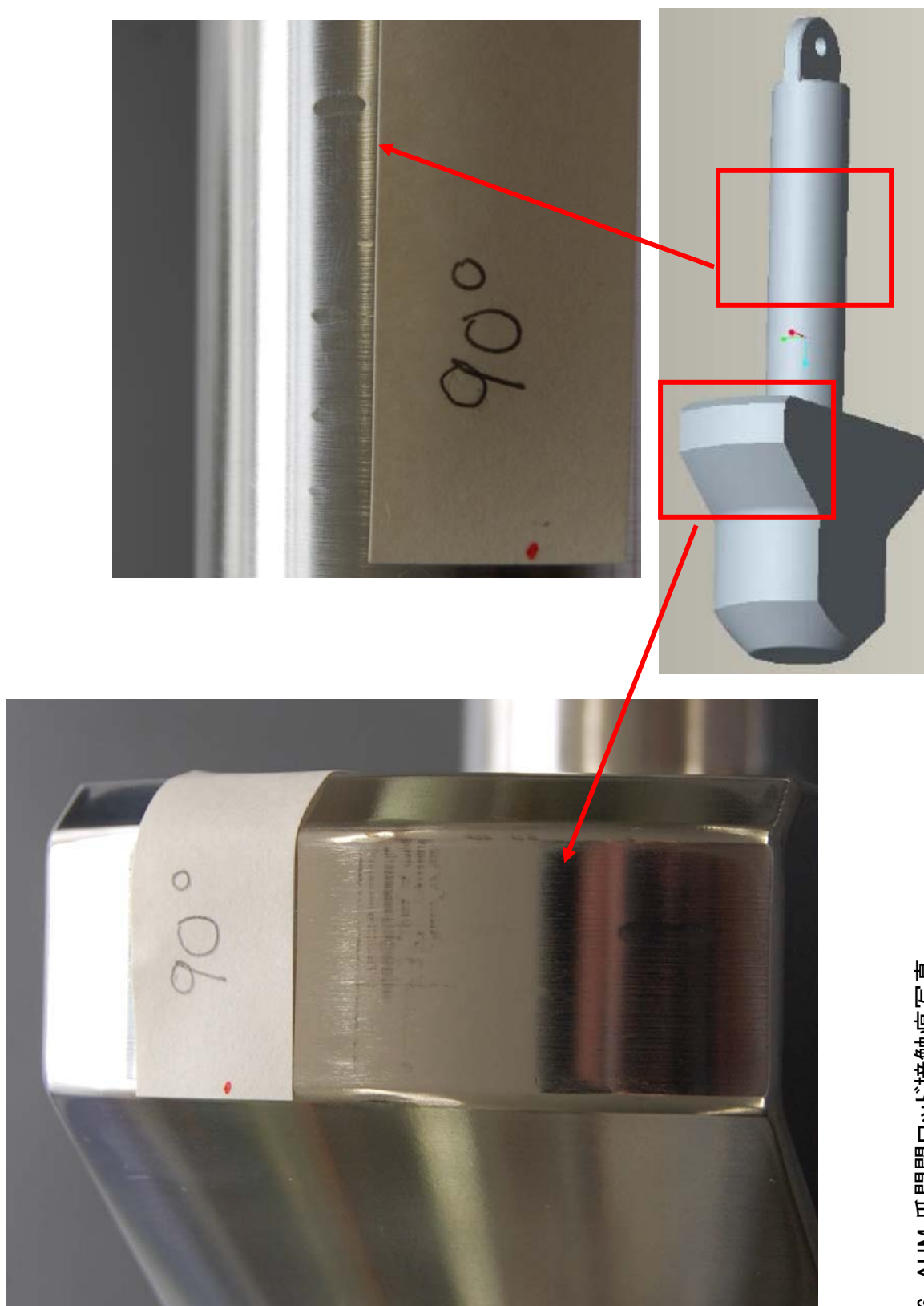
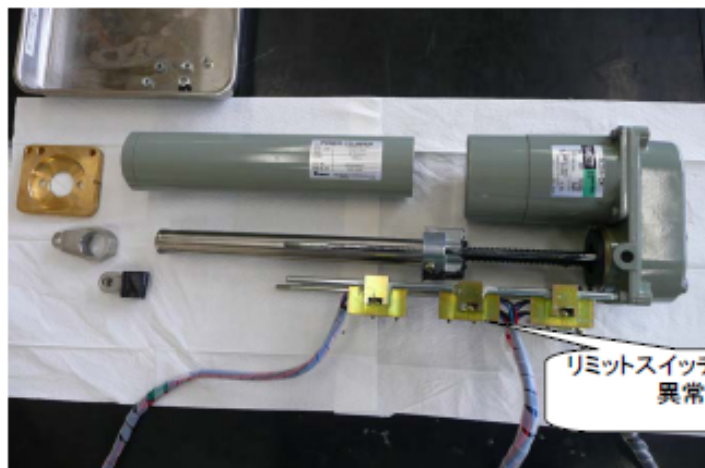
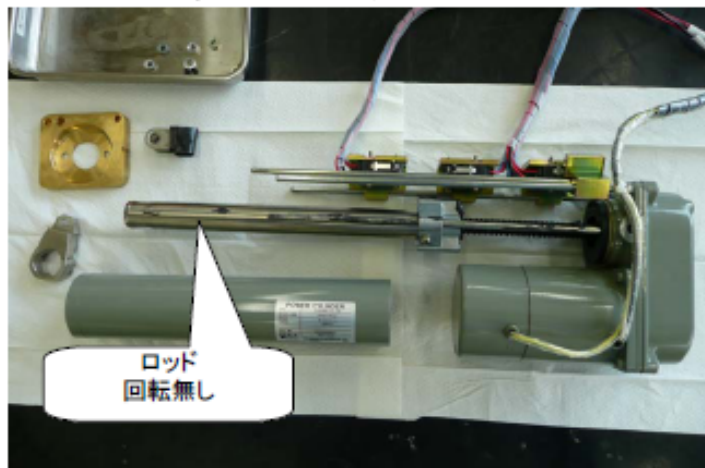


図 9.2.3(1)-6 AHM 爪開閉ロッド接触痕写真

分解状態:異常なし、ロッドの回転無し



外筒の内部:グリス付着有り



図 9.2.3(4) パワーシリンダ外観調査、軸駆動部分解調査

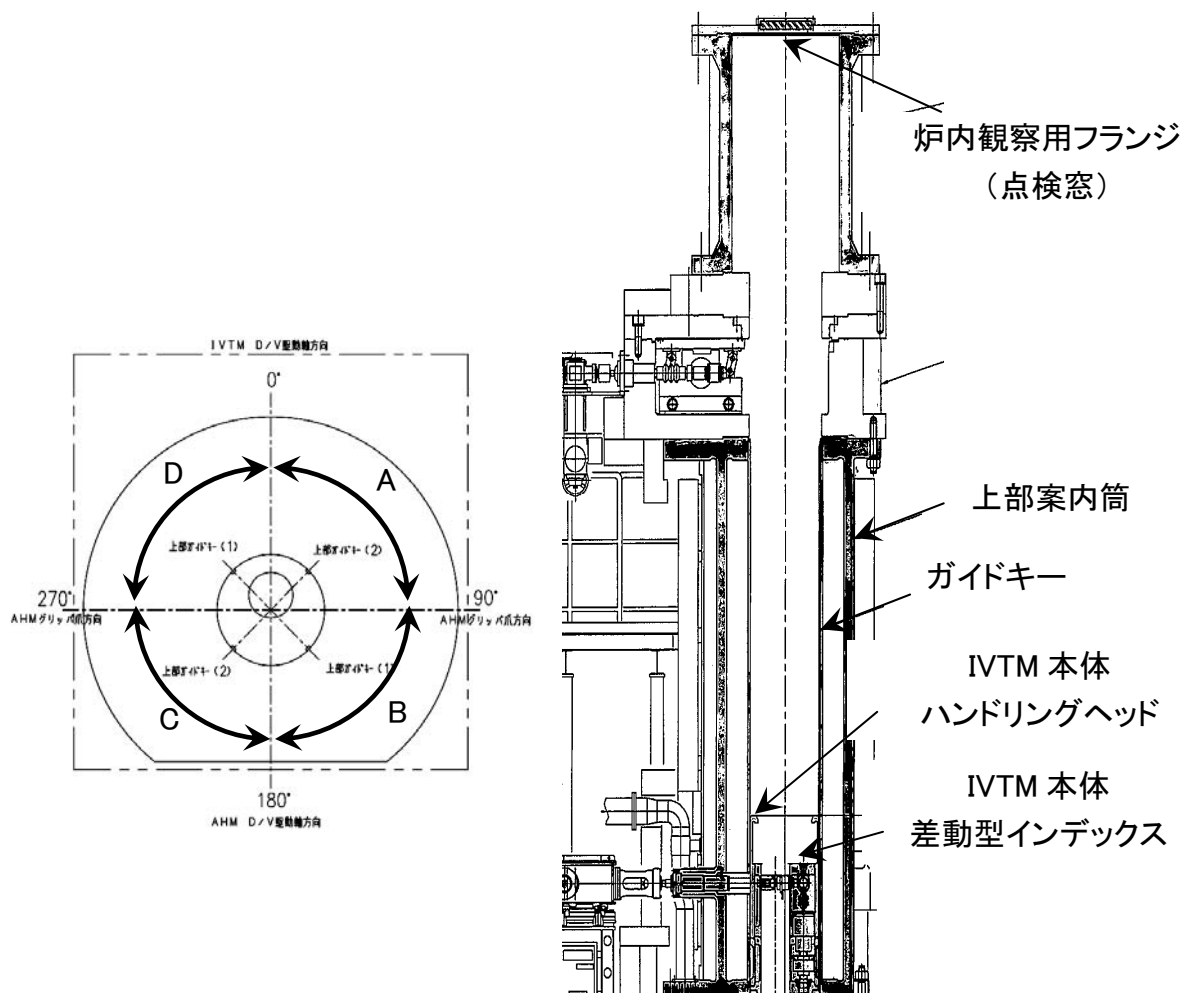


図 9.2.4 (1) -1. 点検窓からの観察箇所

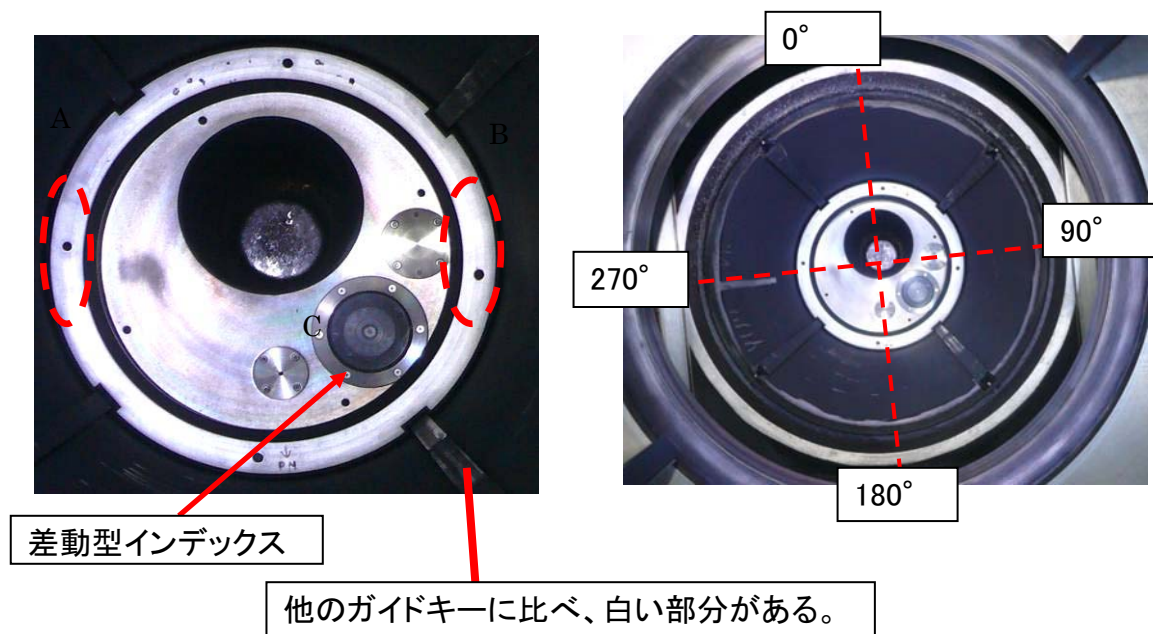


図 9.2.4 (1) -2 点検窓から撮影した上部案内筒、IVTM 本体頂部

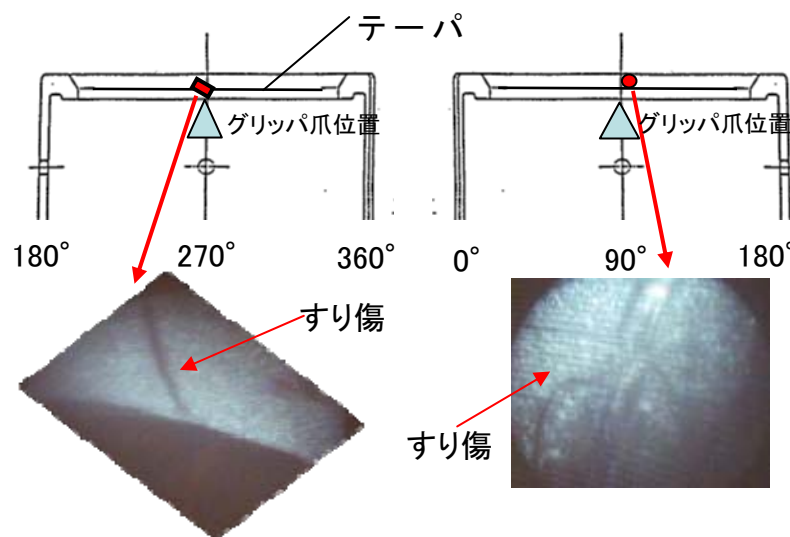


図 9.2.4 (1) -3 180～270° 方向ハンドリングヘッド(ファイバースコープで撮影)

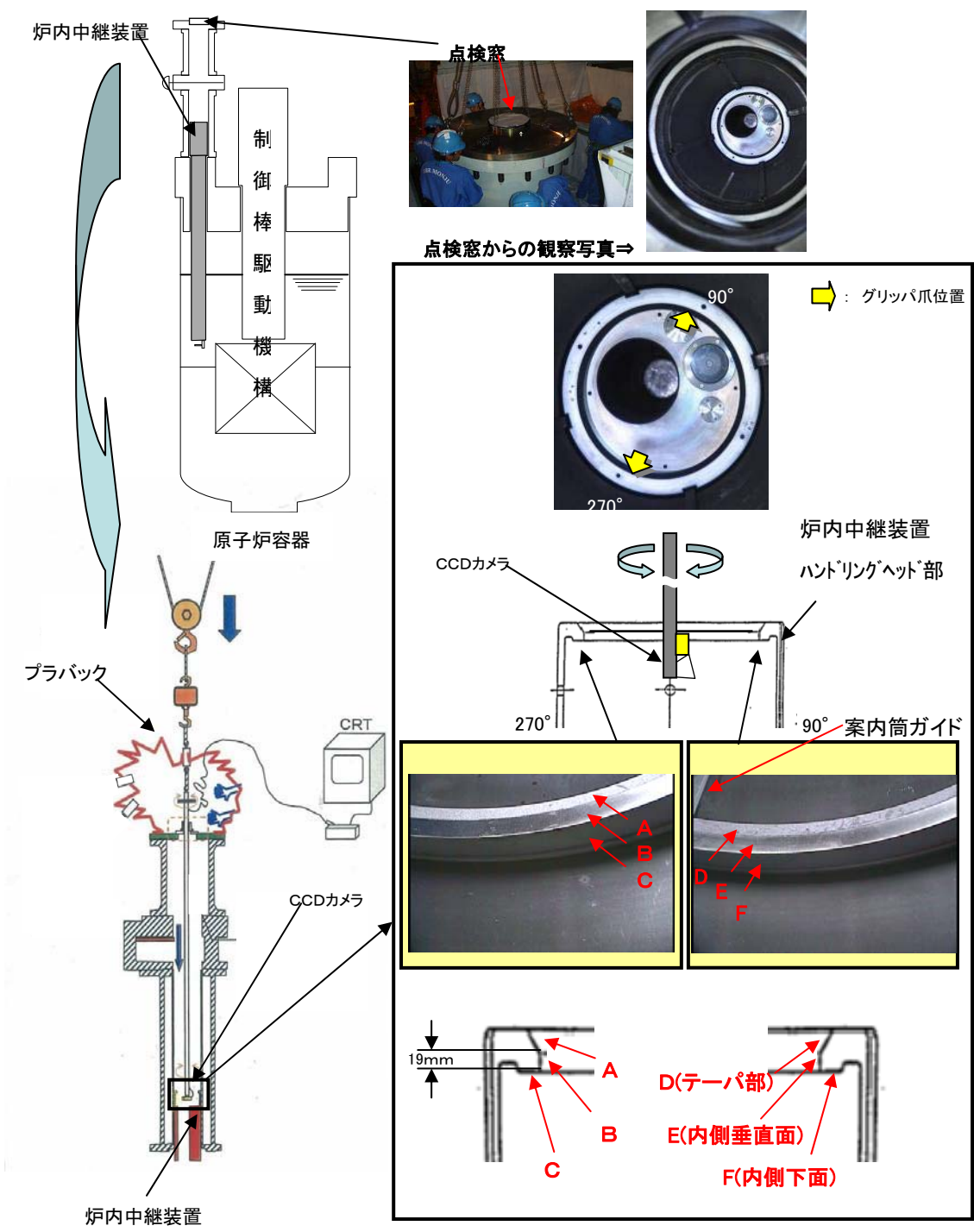


図 9.2.4 (1) -4 炉内中継装置上部ハンドリングヘッドの観察結果

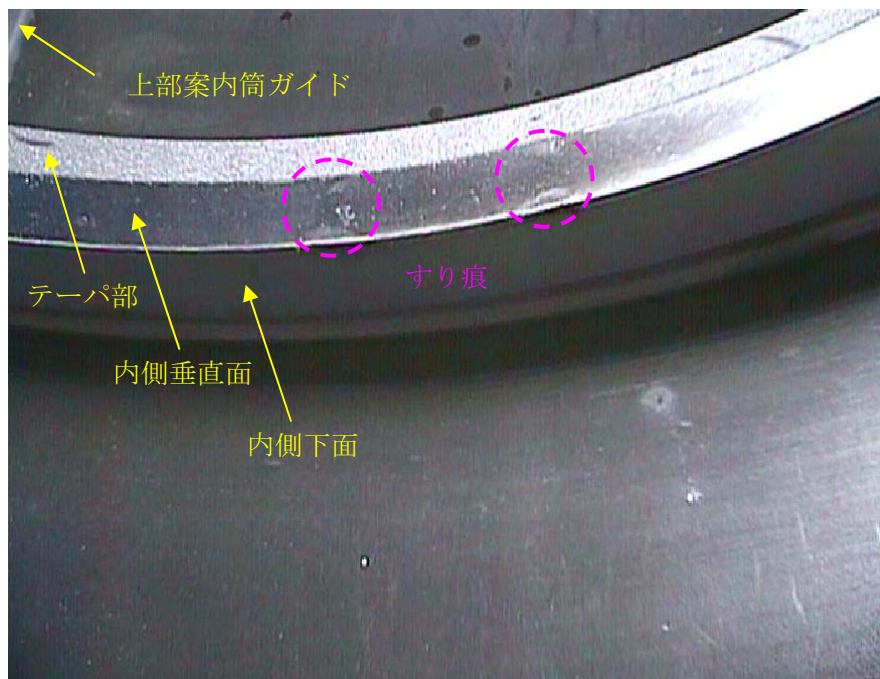


図 9.2.4(1)- 5 ハンドリングヘッド内面のすり痕(270° 方向)

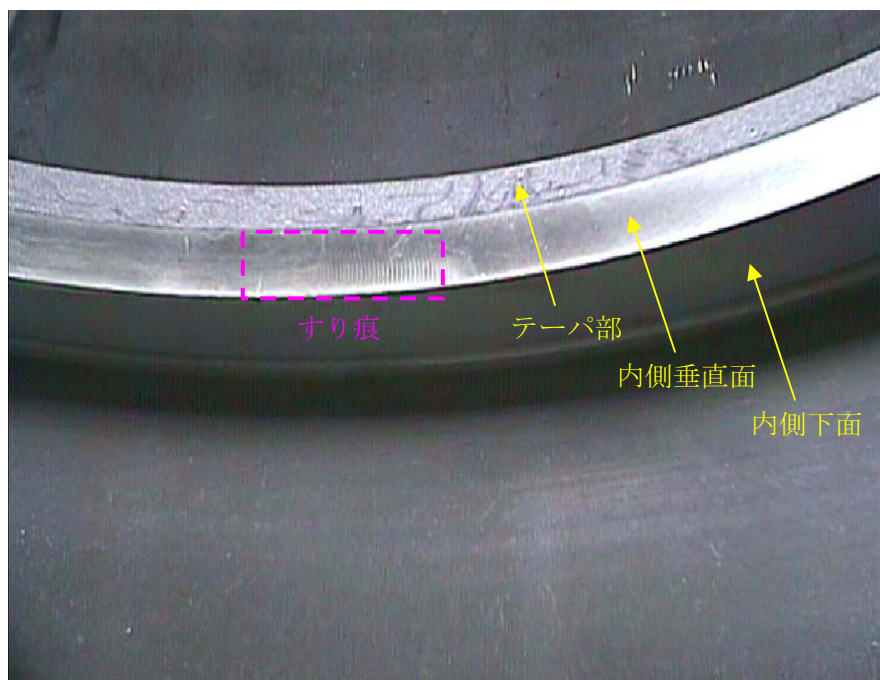
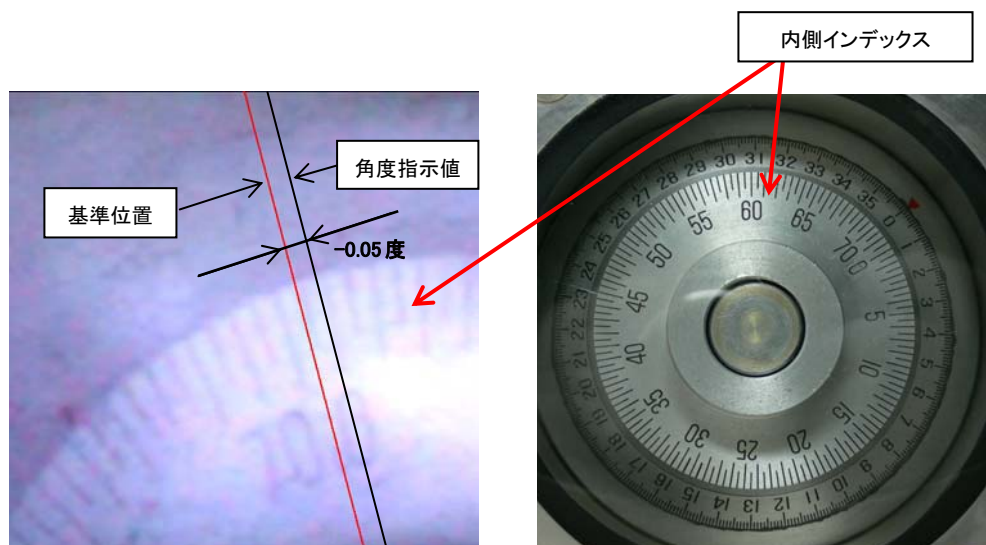


図 9.2.4(1)- 6 ハンドリングヘッド内面のすり痕(90° 方向)



今回の点検窓からの観察 H20.7.31 洗浄終了時の機器試験ピットでの確認
 内側の細目盛(1回転で 7.20 度)が-0.05 度を指示

図 9.2.4(1)-7 IVTM 本体差動型インデックスの表示

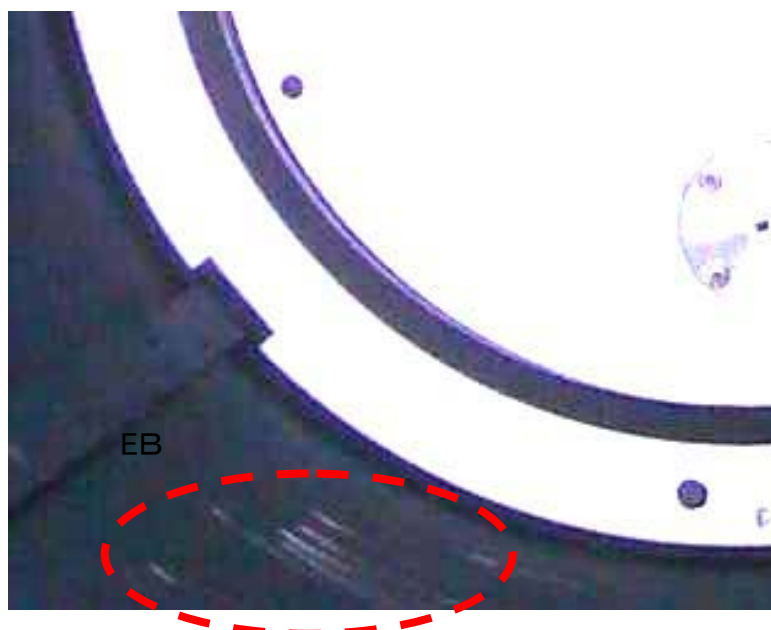


図 9.2.4 (1)-8 180～225° 方向 上部案内筒 円周方向の傷



図 9.2.4 (1)-9 ほぼ 270° 方向 上部案内筒 上端からの帯状の白い筋



図 9.2.4 (1) -10 225° 方向ガイドキー、ハンドリングヘッド